

1. 学歴

- 1984年 3月 一橋大学経済学部卒業
1984年 4月 一橋大学大学院経済学研究科修士課程入学
1986年 3月 同課程修了(経済学修士号取得)
1986年 4月 一橋大学大学院経済学研究科博士課程進学
1987年 10月 同課程休学,ドイツ・ボン大学に留学
1992年 4月 Dr. rer. pol. (Ph. D.) (ボン大学)取得
1992年 9月 一橋大学大学院経済学研究科博士課程に復学
1993年 3月 同課程退学

2. 職歴・研究歴

- 1993年 4月 一橋大学経済学部専任講師
1996年 3月 文部省在外研究員(1997年1月まで)
英国バーミンガム大学ジャパン・センター客員研究員(1996年7月まで)
1996年 8月 ドイツ・ベルリン社会科学研究所(WZB)客員研究員(1998年3月まで)
1998年 4月 一橋大学大学院経済学研究科専任講師
1999年 1月 一橋大学大学院経済学研究科助教授
2007年 4月 一橋大学大学院経済学研究科准教授

3. 学内教育活動

A. 担当講義名

(a) 学部学生向け

経済学入門, EU 入門, 基礎ゼミ, 基礎ミクロ経済学, 産業経済学

(b) 大学院

産業経済学, 産業・労働ワークショップ

B. ゼミナール

学部後期, 大学院

C. 講義およびゼミナールの指導方針

担当する講義では, 常に理論と実証のバランスを重視し, 理論と現実の接点ができるように心がけている。「産業経済学」は, 産業組織論と企業経済学の主要な論点を多くの参考文献・資料を用いて理論と実証の両面から解説する。講義中に日本の産業組織や企業行動について最新のデータや分析結果を提示し, また現実の企業データを収集・分析する課題を出すことによって, 応用ミクロ理論が産業・企業の分析にどのように結びつくのかを理解させる。「産業経済学」(大学院科目)は, 「産業経済学」で扱った分野の一部をさらに理論的に

深く掘り下げることを目的とするが、データの収集・分析や実証論文の読解等の課題を通じて、受講者が実証研究にも理解を深めるよう努めている。学部 2 年生を対象とする基礎ゼミでは企業分析に関する日本語文献を読んで議論し、グループ研究も行っている。学部 3 年生のゼミナールは、理論的基盤と研究方法をしっかりと身に付けさせることを目標にしている。英文テキストの輪読と議論に加えて、冬学期には他大学のゼミとの合同研究発表会に向けてグループ研究を行う。学部 4 年次は卒業論文への取り組みが中心になる。明快な考察に基づく計量分析ができるよう指導し、独自性のある研究を奨励している。大学院のゼミは修士論文・博士論文に向けての研究報告を中心に進められる。

4. 主な研究テーマ

(1) 中小企業の自社研究開発、共同研究開発と産学官連携

アンケート調査データに基づく、中小企業の共同研究開発及び産学官連携の組織・契約形態の解明とプロジェクト成功要因の分析。

統計の集計・個票データに基づく、共同研究開発の経営成果・技術成果への影響分析と規模別比較。

アンケート調査と事例調査に基づく産学官連携の国際比較研究(日本・米国・韓国)。

産学官連携に関連する政策(経済産業省「産業クラスター計画」等)の効果の検証。

(2) 企業の開業と開業後の成果の要因

開業率の地域別要因分析:「事業所・企業統計」及び「工業統計」に基づく、地域別開業率の要因分析。業種、タイプ別の比較。

開業後の生存率と成長率に関する計量分析:アンケート調査データに基づく、開業時および開業後の研究開発戦略および創業者・企業属性の影響の分析。開業後の存続率・成長率に対する地域要因の効果の検証。

新規開業企業の研究開発の影響要因と成果に関する計量分析。

「就業構造基本調査」匿名個票データに基づく自営業への移行とその後の成果の要因分析。

(3) 新規上場企業のコーポレート・ガバナンスと経営成果

高度成長期後半の新規上場中堅企業のコーポレート・ガバナンス:経営成果に対する銀行・事業法人・経営者の貢献を比較分析。

最近の新興市場新規上場企業のコーポレート・ガバナンス:上場前後の経営成果に対する創業者とベンチャーキャピタルの役割を分析。

同族会社と非同族会社の戦略行動の違い:高度成長期上場会社の合併行動の違いとその要因、成果への影響の実証分析。

5. 研究活動

A. 業績

(a) 著書・編著

Entwicklung des Abhaengigkeitsverhaeltnisses im Zulieferer-Abnehmer-Netzwerk, ボン大学 Ph. D. 論文, 1992 年。

日本労働研究機構編『リーディングス日本の労働』第 11 巻「技術革新」(八幡成美・金子能宏・青山和佳と共編著), 第 3 章「ME 化と情報化」, 第 5 章「中小企業の労働と技術革新」執筆担当, 日本労働研究機構, 1999 年。

『技術連携の経済分析 中小企業の企業間共同研究開発と産学官連携』, 同友館, 2009 年。

(b) 論文(査読つき論文には*)

- * 「西ドイツにおける下請取引—力関係とその規定要因—」『一橋論叢』第 100 巻第 6 号, 1988 年。
- * "Der Einfluss kultureller Faktoren auf den Innovationsprozess," (with Horst Albach and Diana de Pay), *Zeitschrift fuer Betriebswirtschaft*, Ergaenzungsheft 1/89, 1989.
- 「情報ネットワークと下請取引関係—日独自動車産業の比較—」『一橋論叢』第 110 巻第 6 号, 1993 年, 912-932 頁。
- 「自動車産業における企業間情報ネットワークの展開: 国際比較と競争政策上の評価」『商工金融』第 44 巻第 1 号, 1994 年, 8-24 頁。
- 「企業規模・下請取引構造と企業間情報ネットワーク: ドイツ自動車産業に関する実証分析」『中小企業季報』1993-4 号, 1994 年, 1-8 頁。
- 「自動車産業における経営情報ネットワークと部品取引関係—企業アンケート調査の結果を中心に—」『情報科学研究』(日本大学情報科学研究所) 第 5 号, 1995 年, 69-87 頁。
- 「部品取引におけるリスク・シェアリングの検討—自動車産業に関する計量分析—」『商工金融』第 45 巻第 7 号, 1995 年, 4-23 頁。
- "Changing Subcontracting Relationship and Risk-Sharing in Japan: An Econometric Analysis of the Automobile Industry," *Hitotsubashi Journal of Economics*, 36-2, 1995, pp. 207-218.
- 「賃金・生産性の企業規模間格差に関する一考察: 国際比較と分析課題の整理」小林靖雄・瀧澤菊太郎編『中小企業研究 55 年・中小企業とは何か』有斐閣, 1996 年, 196-210 頁。
- "Impacts of the Japanese Investment in the UK on the Local Supplier Relationship," *Hitotsubashi Journal of Economics*, 38-2, 1997, pp. 167-181.
- 「部品取引における競争と協調: 高度成長期ドイツの事例」『一橋論叢』第 120 巻第 6 号, 1998 年, 851-869 頁。
- 「東独地域における部品取引関係の再生と現状」『商工金融』第 49 巻第 2 号, 1999 年, 3-23 頁。
- "CAD/CAM Utilization Patterns in Japan and Germany," in: Ulrich Juergens (ed.), *New Product Development and Production Networks*, Berlin (Springer-Verlag), 2000, pp. 407-424.
- 「中小企業の戦略的連携の経済効果」『商工金融』第 50 巻第 7 号, 2000 年, 5-22 頁。
- * 「企業間連携の経済的効果の分析」『日本中小企業学会論集』第 20 号, 2001 年, 184-195 頁。
- 「中堅企業の成長率・収益性とガバナンス構造」『一橋論叢』第 125 巻第 6 号, 2001 年, 51-68 頁。
- 「近年のパネル分析にみるドイツの創業研究の動向」『調査季報』(国民生活金融公庫総合研究所) 第 58 号, 2001 年 8 月, 19-38 頁。
- * "Risk sharing in the supplier relationship: New evidence from the Japanese Automotive Industry," *Journal of Economic Behavior and Organization*, Vol. 45, 2001, pp. 361-381.
- "Recent Changes in Japan's Small Business Sector and Subcontracting Relationship," in: Asian Productivity Organization (APO) (ed.), *Strengthening of Supporting Industries: Asian Experiences*, APO, 2002, pp. 40-53.
- "Long-term effects of the bank-firm relationship on firm performance," (with Li, Jianping), *Hitotsubashi Journal of Economics*, 43-1, 2002, pp. 41-54.
- 「中小企業の共同事業の成功要因: 組織・契約構造の影響に関する分析」『商工金融』第 53 巻第 1 号, 2003 年, 21-31 頁。

- 「零細企業・小規模企業」中小企業総合研究機構編『日本の中小企業研究 1990-1999』第1巻「成果と課題」, 同友館, 2003年, 531-551頁。
- 「零細企業・小規模企業」中小企業総合研究機構編『日本の中小企業研究 1990-1999』第2巻「主要文献解題」, 同友館, 2003年, 471-484頁。
- * 「ドイツ自動車産業における部品取引関係の展開—戦前から戦後への変化とその要因—」『経営史学』第38巻第2号, 2003年11月, 59-83頁。
- "Business Relationship and Post-Entry Performance of Start-up Firms in Japan," COE/RES Discussion Paper Series No. 50, 2004年3月。
- 「新規開業企業の取引関係と成長率」『調査季報』(国民生活金融公庫総合研究所)第69号, 2004年5月, 1-18頁。
- 「デフレ経済下における中小製造業の研究開発活動の決定要因」『商工金融』第54巻第6号, 2004年6月, 5-19頁。
- * 「中小企業の共同研究開発と知的財産」『日本中小企業学会論集』第24号, 2005年, 3-16頁。
- "Evolution of the Supplier Network in the German Automotive Industry from the Prewar to Postwar Period: A Comparative Perspective with the Japanese Experience," *Business and Economic History On-Line*, Vol. 2, December 2004.
- 「取引関係とパフォーマンス」忽那憲治・安田武彦編著『日本の新規開業企業』白桃書房, 2005年, 第5章, 101-125頁。
- 「中小企業の産学連携への取り組みと成果の要因」『中小公庫マンスリー』2005年12月号, 6-11頁。
- 「スタートアップ期中小企業の研究開発投資の決定要因」RIETI Discussion Paper 05-J-015, 独立行政法人経済産業研究所, 2005年3月。
- "Determinants of Regional Variations in the Start-up Ratio: Evidence from Japan," (with Nobuo Kobayashi), COE/RES Discussion Paper No. 115, March 2005.
- * "The Impact of Regional Factors on the Startup Ratio in Japan," (joint with Nobuo Kobayashi), *Journal of Small Business Management*, 44-2, 2006, pp. 310-313.
- 「製造業の開業率への地域要因の影響: ハイテク業種とローテク業種の比較分析」RIETI Discussion Paper Series 06-J-049, 独立行政法人経済産業研究所, 2006年6月。
- 「中小企業の技術連携への取り組みは大企業とどのように異なるのか」『商工金融』第56巻第6号, 2006年, 35-51頁。
- 「高度成長期の新規上場企業のコーポレート・ガバナンスと企業家の役割」『経済研究』(一橋大学経済研究所)第57巻第4号, 2006年, 303-313頁。
- 「中小企業による産学連携相手の選択と連携成果」『中小企業総合研究』(中小企業金融公庫総合研究所)第5号, 2006年, 21-36頁。
- 「開業率の地域別格差は何によって決まるのか」橋木俊詔・安田武彦編著『企業の一生の経済学』ナカニシヤ出版, 2006年, 第4章, 87-118頁。
- 「開業率日本一の沖縄県宜野湾市」橋木俊詔・安田武彦編著『企業の一生の経済学』ナカニシヤ出版, 2006年, 補論B, 119-131頁。
- 「企業間事業連携の効果: 個票データによる中小企業と大企業の比較分析」『企業研究』(中央大学企業研究所)第10号, 2007年3月, 35-54頁。
- 「ベンチャーキャピタルの関与とIPO前後の企業成長率」(比佐優子と共著)『証券アナリストジャーナル』第45

巻第9号, 2007年9月, 68-78頁。

「存続・成長と地域特性」樋口美雄・村上義昭・鈴木正明・国民生活金融公庫総合研究所編著『新規開業企業の成長と撤退』勁草書房, 2007年, 第3章, 95-122頁。

* "Determinants of Successful R&D Cooperation of the Japanese Small Businesses: The Impact of Organizational and Contractual Characteristics," *Research Policy* 36, 2007, pp. 1529-1544.

「日本企業の所有構造の発展過程(1950-2004)」(沈政郁, ユパナ・ウィワッタナカントンと共著) COE/RES Discussion Paper Series, No. 265, March 2008.

* "How different are the regional factors of high-tech and low-tech start-ups? evidence from Japanese manufacturing industries," *International Entrepreneurship and Management Journal* 4, 2008, pp. 199-215.

"An Inquiry into the Status and Nature of University-Industry Research Collaborations in Japan and Korea" (with M. Hemmert, L. Bstieler, and K. Ruth), *Hitotsubashi Journal of Economics*, 49-2, 2008, pp. 163-180.

"Survival of New Firms in an Industry Agglomeration: An Empirical Analysis Using Telephone Directory of Tokyo in the 1980s," *Business and Economic History On-Line* 6, January 2009.

「中小企業の産学連携の実態: バイオ, ME, ソフトウェア分野の比較調査結果」『信金中金月報』2009年1月号, 1-16頁。

"Determinants of R&D Activities by Start-up Firms: Evidence from Japan," in: J. E. Michaels and L. F. Piraro (eds.), *Small Business: Innovation, Problems and Strategy*, New York (Nova Science Publishers), 2009, Chapter 1, pp. 27-44.

「優越的地位の濫用 三井住友銀行事件とドン・キホーテ事件」(林秀弥と共著), 岡田羊祐・林秀弥編『独占禁止法の経済学 審判決の事例分析』東京大学出版会, 2009年6月, 第13章, 273-294頁。

"Determinants of R&D Cooperation in Japanese High-tech Start-ups," (with M. Kato and Y. Honjo), Center for Economic Institutions Working Paper Series No. 2009-7, Hitotsubashi University, November 2009.

"Effects of Regional Human Capital Structure on Business Entry: A Comparison of Independent Startups and New Subsidiaries in Different Industries," (with K. Ikeuchi), Global COE Hi-Stat Discussion Paper Series No. 113, Hitotsubashi University, February 2010.

"R&D financing of start-up firms: How much does founders' human capital matter?," (with Y. Honjo and M. Kato), Center for Economic Institutions Working Paper Series No. 2009-15, Hitotsubashi University, March 2010.

* "Shareholding by venture capitalists and R&D investment of start-up firms," (with J. X. Zhang), *Corporate Ownership and Control* 7, 2010, pp. 142-149.

* "R&D productivity and the organization of cluster policy: An empirical evaluation of the Industrial Cluster Project in Japan," (with J. Nishimura), forthcoming in the *Journal of Technology Transfer*.

* "Does ownership matter in mergers? A comparative study of the causes and consequences of mergers by family and non-family firms," (with J.W. Shim), forthcoming in the *Journal of Banking and Finance*.

"Understanding the Drivers of 'Entrepreneurial' Economy: Lessons from Japan and the Netherlands," (with van Stel and I. Verheul), CCES discussion paper No. 36, Center for Research on Contemporary Economic Systems, Hitotsubashi University, September 2010.

"Selling, passing on or closing? Determinants of entrepreneurial intentions on exit modes," (with M. Battisti), Global COE Hi-Stat Discussion Paper Series No. 151, Hitotsubashi University, October 2010.

* "Subsidy and networking: the effects of direct and indirect support programs in the cluster policy," (with J.

Nishimura), forthcoming in *Research Policy*.

(d) その他

[書評]『大学発ベンチャー 新事業創出と発展のプロセス』(S. シェーン)『中小企業総合研究』第3号, 2006年, 64-65頁。

[書評]『産業政策と企業統治の経済史—日本経済発展のマイクロ分析—』(宮島英昭)『経営史学』第41巻第2号, 2006年, 76-78頁。

「企業規模別に見る産学連携の内容と成果—独自の企業アンケート調査から」『企業診断』(企業診断協会) 2009年1月号, 60-65頁。

「製造業の新規開業—地域要因からのアプローチ—」『日本政策金融公庫調査月報』2009年2月号, 34-39頁。

「産業クラスター政策と企業パフォーマンス—研究開発支援とネットワーキング支援の効果—」(西村淳一と共著)『政策研ニュース』(医薬産業政策研究所)29号, 2010年1月, 27-32頁。

B. 最近の研究活動

(a) 国内外学会発表(基調報告・招待講演には*)

「ベンチャーキャピタルの関与とIPO前後の企業成長率」(比佐優子と共同), 日本経済学会 2006年度春季大会, 2006年6月。

"Ownership Structure and R&D Investment of Japanese Start-up Firms," (joint with Zhang, J. X.), CEBR Conference on Entrepreneurship, Copenhagen (Denmark), June 2006.

「選別か育成か: 株式公開前後の成長率に対するVCの影響」(比佐優子と共同), 企業家研究フォーラム第4回年次大会, 2006年7月。

「製造業の開業率は地域要因に左右されるか」, 日本経済学会 2006年度秋季大会, 2006年10月。

"How different are the regional factors of high-tech and low-tech start-ups? evidence from Japanese manufacturing industries," RENT (Research in Entrepreneurship and Small Business) XX. Conference, Brussels (Belgium), November 2006.

「中小企業による産学連携相手の選択と連携成果」, 日本経済学会 2007年度春季大会, 2007年6月。

"Determinants and Effects of Partner Choice in the Research Partnership between Small Businesses and Universities," Conference on R&D and Firm Performance, Hitotsubashi University, March 2008.

"Survival of New Firms in an Industry Agglomeration: An Empirical Analysis Using Telephone Directories of Tokyo," Business History Conference (BHC), 54. Annual Meeting, Sacramento (USA), April 2008.

"Mergers by Family and Non-family Firms in Japan, 1955-1973: Does Ownership Matter?," (with J.-W. Shim), International Conference on Business History, 早稲田大学, 2008年1月, および日本経済学会 2008年度春季大会, 2008年6月。

"Business Relationship and the Growth of Start-up Firms in Japan," International Council for Small Business (ICSB) 53. World Conference, Halifax (Canada), June 2008.

"Has the Industrial Cluster Project Improved the R&D Efficiency of Industry-University Partnership in Japan?," (with J. Nishimura), RENT (Research in Entrepreneurship and Small Business) XXII. Conference, Covilha (Portugal), November 2008, および Applied Econometrics Association, 97th International Conference "Patent and Innovation," Hitotsubashi University, December 2008.

- "Trust Formation in the Research Collaboration between Small Businesses and Universities: A Comparative Study of Four Countries," (with M. Hemmert), International Council for Small Business (ICSB) 54. World Conference, Seoul, Korea, June 2009.
- "R&D productivity and the organization of cluster policy: An empirical evaluation of the Industrial Cluster Project in Japan," (with J. Nishimura), DRUID (Danish Research Unit for Industrial Dynamics) Summer Conference 2009, Copenhagen (Denmark), June 2009, および 36th Annual Conference of EARIE (European Association for Research in Industrial Economics), Ljubljana (Slovenia), September 2009.
- "Subsidy and networking: the effects of direct and indirect support programs in the cluster policy," (with J. Nishimura), RENT (Research in Entrepreneurship and Small Business) XXIII. Conference, Budapest (Hungary), November 2009, 8th IIOC (International Industrial Organization Conference), Vancouver (Canada), May 2010, および 37th Annual Conference of EARIE (European Association for Research in Industrial Economics), Istanbul (Turkey), September 2010.
- "Determinants of research partnership formation by Japanese high-tech start-ups," (with M. Kato and Y. Honjo), CAED (Comparative Analysis of Enterprise Data) Conference, Tokyo, October 2009, および RENT (Research in Entrepreneurship and Small Business) XXIII. Conference, Budapest (Hungary), November 2009.
- "Determinants of Regional Startup Ratio: Independent Startups and New Subsidiaries in Different Industries," (with K. Ikeuchi), RENT (Research in Entrepreneurship and Small Business) XXIII. Conference, Budapest (Hungary), November 2009.
- * "Determinants and Success Factors of University-Industry Research Collaborations in Japan," Global Conference on University-Industry Collaboration, Korea University, Seoul, Korea, April 2010.
- 「研究開発型スタートアップ企業の追跡調査」, 日本中小企業学会第 30 回全国大会, 東洋大学, 2010 年 9 月。
- "R&D financing of start-up firms: How much does founders' human capital matter?," (with Y. Honjo and M. Kato), RENT (Research in Entrepreneurship and Small Business) XXIV. Conference Maastricht, the Netherlands, November 2010.
- "Determinants and success factors of university-industry research collaborations by small businesses in Japan," (with J. Nishimura), RENT (Research in Entrepreneurship and Small Business) XXIV. Conference, Maastricht, the Netherlands, November 2010.
- "Selling, passing on or closing? Determinants of entrepreneurial intentions on exit modes," (with M. Battisti), RENT (Research in Entrepreneurship and Small Business) XXIV. Conference, Maastricht, the Netherlands, November 2010.
- "Understanding the Drivers of 'Entrepreneurial' Economy: Lessons from Japan and the Netherlands," (with A. van Stel and I. Verheul), RENT (Research in Entrepreneurship and Small Business) XXIV. Conference, Maastricht, the Netherlands, November 2010.

(b) 国内研究プロジェクト

- 「現代経済システムの規範的評価と社会的選択」一橋大学 21 世紀 COE プロジェクト, 2003 - 2007 年度 (研究代表者: 鈴木興太郎), 事業推進担当者。
- 「日本および東アジアのコーポレート・ガバナンスにおける動学的分析」日本学術振興会科学研究費補助金 (基

盤研究 A)助成研究,2006 - 2008 年度(研究代表者:ユパナ・ウィワッタナカタン),研究分担者。
「研究開発型企業のライフサイクルとイノベーションに関する定量的・定性的研究」日本学術振興会科学研究費補助金(基盤研究 A)助成研究,2008 - 2011 年度,研究代表者。
「社会科学の高度統計・実証分析拠点構築」日本学術振興会グローバル COE プロジェクト,2008 - 2012 年度(研究代表者:深尾京司),事業推進担当者。
「持続的成長を可能にする産業・金融ネットワークの設計」日本学術振興会「近未来の課題解決を目指した実証的」社会科学推進事業,2008 - 2012 年度(研究代表者:渡辺努),研究分担者。
「独占禁止法審判研究会」公正取引委員会競争政策研究センター,2008 年度以降(研究代表者:岡田羊祐・林秀弥),研究分担者。
「日本・アジア・ヨーロッパにおける企業の参入と地域活性化に関する実証研究」一橋大学学内プロジェクト,2009 - 2010 年度(研究代表者:深尾京司),研究分担者。

(c) 国際研究プロジェクト

"The Determinants, Organization, and Outcomes of University-Industry Interaction in Innovation Systems: A Comparison among Germany, the United States, Japan and South Korea," ドイツ・フォルクスワーゲン財団研究助成,2006 年 11 月 - 2009 年 2 月,プレーメン大学(ドイツ),ニュー・ハンプシャー大学(アメリカ),高麗大学(韓国)との共同研究。

(d) 研究集会オーガナイズ

日本中小企業学会第 26 回全国大会,一橋大学,2006 年 9 月 30 日 - 10 月 1 日,大会事務局長。
国際交流セミナー(21 世紀 COE と共催),一橋大学,2007 年 3 月,幹事。
International Conference on Business History (Fuji Conference),早稲田大学,2008 年 1 月 26 - 27 日,運営責任者。
国際交流セミナー(21 世紀 COE と共催),一橋大学,2008 年 3 月 8 日,幹事。
One-day Conference on Survival, Innovation, and Growth of Firms,一橋大学,2009 年 1 月 24 日,主催者。
国際交流セミナー(科研費プロジェクトと共催),一橋大学,2009 年 1 月 26 日,幹事。
国際交流セミナー(グローバル COE-HiStat と共催),一橋大学,2009 年 12 月 22 日,幹事。
国際交流セミナー(グローバル COE-HiStat と共催),一橋大学,2010 年 2 月 16 日,幹事。
国際交流セミナー(グローバル COE-HiStat と共催),一橋大学,2010 年 2 月 20 日,幹事。
Osaka Workshop on Entrepreneurship and Innovation, 阪急ターミナルスクエア 17(大阪市),2010 年 12 月 11 - 12 日,主催者。
国際交流セミナー(グローバル COE-HiStat と共催),一橋大学,2010 年 12 月 14 日,幹事。

C. 受賞

2001 年度沖永賞(日本労働研究機構編『リーディングス日本の労働』に対して)
2003 年度中小企業研究奨励賞(中小企業総合研究機構編『日本の中小企業研究 1990 - 1999』に対して)
2005 年度中小企業研究奨励賞(忽那憲治・安田武彦編著『日本の新規開業企業』白桃書房に対して)
2007 年度中小企業研究奨励賞(樋口美雄他『新規開業企業の成長と撤退』勁草書房に対して)
2008 年度企業家研究フォーラム賞(樋口美雄他『新規開業企業の成長と撤退』勁草書房に対して)
2009 年度中小企業研究奨励賞(拙著『技術連携の経済分析 中小企業の企業間共同研究開発と産学官連

携』に対して)

6. 学内行政

(b) 学内委員会

大学機関誌 Merc 編集委員(2006 - 2007 年度)
学生委員会委員(2007 - 2008 年度)
国際学生宿舎専門委員会委員(2007 - 2008 年度)
機関リポジトリ運営会議委員(2007 年度以降現在まで)
学生支援自己点検・評価専門委員会委員(2010 年度)

(c) 課外活動顧問

体育会女子ラクロス部(2006 年度より)
学志会(2010 年度より)

7. 学外活動

(b) 所属学会および学術活動

日本経済学会
日本中小企業学会(2004 年度より理事・幹事)
経営史学会(2007 年度より富士コンファレンス準備委員)
企業家研究フォーラム(2007 年度より幹事・編集委員)
組織学会(2010 年まで)
European Association for Research in Industrial Economics (EARIE)
Industrial Organization Society (IOS)
European Council for Small Business and Entrepreneurship (ECSB)

(d) その他

(財)商工総合研究所中小企業懸賞論文選考委員(2004 年度より現在まで)
中小企業診断士試験委員(2007 年度まで)
全国中小企業団体中央会企業組合調査委員(2007 年度)

8. 官公庁等各種審議会・委員会等における活動

日本学術振興会「産業構造・中小企業第 118 委員会」(委員)(1994 年度より現在まで)
総務省統計局「統計分類専門会議」(委員)(2003 年度より現在まで)
総務省統計局「産業分類検討委員会」(委員)(2006 - 2007 年度)
総務省統計局統計審議会(専門委員)(2007 年度)
内閣府統計委員会基本計画部会第 2 ワーキンググループ(委員)(2008 年度)
内閣府統計委員会産業統計部会(専門委員)(2008 - 2009 年度)
内閣府統計委員会企業統計・サービス統計部会(専門委員)(2009 年度より)
経済産業省純粋持株会社の実態把握に向けた調査設計に関する研究会(委員)(2010 年度)
国立市誘致企業審査会(委員長)(2008 年度より)

9. 一般的言論活動

「企業と企業の結びつき」(特集「世界を解く:結ぶ」),一橋大学広報誌『HQ』第14号,2007年。

一橋大学総合誌『MERC』第2号特集の編集作業および記事執筆,2007年。